

どうして、森林を守るの？

人は、はるか昔から森林を守り続けてきました。

森林は安全で豊かな私たちの暮らしを支えているからです。

その働きは森林が健やかな状態でなければ発揮されません。

だからこそ私たちの手で整備し、

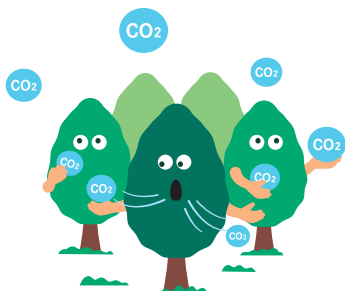
守っていくことが必要なのです。



私たちの暮らしを支える森林の働き



温室効果ガスの削減



木々は地球温暖化の原因となる温室効果ガス(二酸化炭素)を吸収します。

自然災害の防止



木々が根を張ることで土砂崩れを防ぎます。
また、下草や落葉・枝などが表土の流出を抑えます。

水資源の貯蓄・浄水



雨水をゆっくり土の中に浸透させ、洪水時や無降雨時の川の流れを調節します。
さらに、染み込んだ雨水を浄化します。

森林を守ることは、私たちの暮らしを守ること。

令和6年、森林環境税が始まります。

国民一人一人が、森を支える。森林環境税

令和6年6月から森林整備やその促進に充てるため、年間1,000円が個人住民税と併せて徴収されます。

※防災のための施策に要する費用の財源を確保するための個人住民税均等割の引き上げ措置(1,000円/年)は令和5年度に終了

【具体的な活用先】



森林整備

森林の働きを最大限に発揮させるために、植樹や間伐を行い健やかな森林を維持します。

搬出間伐の実施



人材育成

森林整備の知識や技術を普及させることで、森林整備の担い手を育成します。

林業就業者による伐倒の実演



木材の利用・普及啓発

山間部と都市部が連携した森林環境教育や間伐などで生産された木材の活用を進めます。

スケートボードセッションの制作



森林環境税

